

ユビキタスサービスにあふれる 「e社会」の実現をめざし、世界の人々の快適で 心豊かな生活の実現に貢献してまいります。



沖電気工業株式会社
取締役社長兼CEO

蔭塚 勝正

企業理念に基づき、 社会への責任を果たします

OKIは、1881年(明治14年)に創業した日本最初の通信機器メーカーである明工舎を前身とします。アメリカのグラハム・ベルが電話機を発明したわずか5年後、明工舎は進取の精神をもってその国産化に挑戦し、成功いたしました。

この創業以来の未知へチャレンジする意欲を受け継ぐ企業理念“OKIは「進取の精神」をもって、情報社会の発展に寄与する商品を提供し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献する。”は、OKIグループの考える企業の社会的責任(CSR)の根幹をなすものです。

「e社会」のキープレーヤーとして 貢献します

OKIグループは、この理念のもと、企業ビジョン「ネットワークソリューションのOKI」を掲げております。そして、誰もが「いつでも、どこでも、何とでも」「欲しいサービスを望む形で」「安全に、確実に」利用できる、ユビキタスサービスにあふれる社会—すなわちOKIの提唱する「e社会」を実現するキープレーヤーとして、お客様にご安心いただける商品・サービスの提供を通じ、皆様の快適で豊かな生活の実現に貢献すべく取り組んでおります。

経営環境の変化を受け、本年10月1日付で半導体事業を分社化し、その株式を譲渡することを決定いたしました。OKIグループが「e社会」の実現を追求し続けることには何ら変わりはありません。情報通信事業、およびATMやプリンタなどのメカトロニクス事業の強化を図り、「e社会」のキープレーヤーとしての地位をより確たるものにしていく所存です。

グローバルな経営体制、 CSR推進体制の構築を推進します

OKIグループは海外事業を拡大しております。グローバル企業として成長していくなかで、社会に果たしていくべき責任もより多面的かつ大きなものとなるという認識のもと、コーポレート・ガバナンスの強化に努めるとともに、2005年10月に制定した「OKIグループ企業行動憲章」を軸に、グループを挙げてCSR活動を推進しております。

2007年8月には、本憲章に則って社会的責任を果たすためにグループの全役員・社員がとるべき行動を示した「OKIグループ行動規範」を制定し、国内外の全グループ会社においてもこれを各社の取締役会で採択いたしました。今後は、こうしたグローバルな体制をベースに、ステークホルダーの皆様から寄せられる期待と、OKIグループが果たすべき役割の両面からCSR活動を考え推進し、社会にいつそう貢献していきたいと考えております。

ステークホルダーの皆様に「安心」を お届けするCSR活動を推進します

OKIのブランドスローガン「Open up your dreams」は、こうした取り組みや考え方をふまえ、OKIグループがステークホルダーの皆様に提供する価値を表現したOKIブランドの約束です。安心、安全な夢の社会への扉を開き、OKIグループに関わる多くのステークホルダーの皆様により大きな「安心」をお届けするため、今後もCSR活動を着実かつ誠実に進め、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

この「社会的責任レポート2008」は、OKIグループの2007年度のCSR活動をお客様、株主・投資家、社員、お取引先、地域社会の皆様など、ステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的に作成しております。一人でも多くの皆様に本レポートをご覧いただき、OKIグループのCSR活動に対する忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

2008年9月

OKI *Open up your dreams*

OKIは、お客様をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様の夢や希望が現実のものとなる、e社会の実現を目指しています。

OKIのブランドスローガンは、世界の人々の心豊かで安心、安全な夢の社会への扉を開くことを表しています。また、e社会を目指す私たちOKIの夢の実現をも表現しています。

「あなたの夢を拓く」「想いを実現する」
それがブランドスローガンに込めたOKIの約束です。

— OKIは夢の扉を開きます —